

# 2017年度シラバス

開講時期	1年次通期		開講区分	留学生
科目名称	コミュニケーション論			
担当講師	津山隆雄		補助講師	なし
開講曜日	木		時限	1
単位数	4		週時間 (45分)	2
取得を目指す資格	必須	特になし		
	推奨			
授業概要	<p>本学で専門士を目指して学ぶための基本は、「日本語」の能力です。読んで理解できる能力、お互いに議論しながらコミュニケーションを深めることのできる能力、自分の考えを書ける能力等が不可欠です。コミュニケーション能力を高める手段・道具としての日本語を磨くことが本授業の目的です。そのために、オリジナル教材をもとに、読解・聴解・意見交流・小論文等に取り組みます。声を出し身体を使い、五感を駆使しながら学ぶことで、コミュニケーションの深まりを実感できると思います。</p>			
授業計画	4月	授業の始まりは、日本語の調音練習からです。早口言葉、促音練習へと続きます。一人ひとりしっかりと声を出しましょう。日本語の響きが身体に染み込んでいきます。		
	5月	教材をもとに読解・聴解・意見交流・小論文などに取り組みます。		
	6月	教材は、様々な分野に及びます。自分の考えを深めるためです。考えを深めることで話し合いの内容や小論文の内容を充実させることができます。自分の考えがもてるようになって初めてコミュニケーションが成立するのです。		
	7月			
	8月	夏休み		
	9月	後期は前期の流れを一層深化させます。日本語の磨きに拍車をかけます。		
	10月	教材は少しずつ難しくなってきたり、読み応えが出てきます。日頃の努力が問われることとなります。		
	11月	読解・聴解・意見交流・小論文への取り組みの時間配分が変化してきます。じっくりと考えを深めるような工夫をしていきます。		
	12月			
	1月	テーマを決めて討論し、小論文を書く演習を取り入れます。また教材を読解して自分の考えをまとめて、小論文を書くことも試みます。		
	2月			
	3月	春休み		
使用するテキスト	特になし			
成績評価	出席率70%以上・授業態度・提出物・漢字テスト・前期後期試験等の結果を総合的に判断して50点以上を合格とします。			
講師からのメッセージ	<p>コミュニケーション論では、相手との意思疎通が円滑にできるようになることが目標です。そのために、「実際に声を出すこと、日本語を使うこと」を大切にして進めていきます。意思疎通のための手段としての日本語に親しみ、語彙を増やしていくことが、皆さんの目標達成に大きな支えとなるはずですが、積極果敢に学びましょう。</p>			